# H29年度における 湧別川ほか減災に関する取組 (フォローアップ)

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関		上段:計画		H28年の取り組み状況	H29年の取り組み状況	H30年以降の取り組み内容	
	■危機管 理型ハード	① 国管理区間 ・堤防天端の保護 (湧別左岸地区、遠 軽右岸地区)	H32年度 までに 実施	網走開建	• • •			【天端保護】 遠軽右岸地区	【天端保護】 湧別左岸地区、遠軽右岸地区		
	· 対策	② 北海道管理区間・堤防天端の保護箇所の検討と実施	H28年度 から 実施	振興局					・堤防天端の保護箇所の検討	・堤防天端の保護箇所の検討 【天端保護】 生田原川(検討)	
	ード対策 ■動のの整動のの整有効がある。	① 防災拠点施設の強化 ・防災行政無線の整備及び更新 ・防災拠点施設における自家発電機等	H29年度 から 実施	湧別町					・防災行政無線更新の検討(デジタル化H34.11末まで) ・防災拠点施設における自家発電機等の改良検討	・防災行政無線更新について、各種デジテル無線システムの調査・検討事業を実施し、平成22年度までの整備を目指す。 ・防災拠点施設における自家発電機等の改良検討を引き続き行う。 ・防災拠点代替施設の指定を含む町の業務継続計画(BCP)策定を検討する	
	の取組	の改良検討及び防災拠点代替施設検討		遠軽町			• • •		・防災無線の整備に向けた検討 ・防災拠点代替施設検討	- 防災無線デジタル化実施設計 - 防災拠点代替施設検討を継続	
迅速かつ確実		① 想定最大規模の降雨による浸水想定区域、家屋倒壊等氾濫想定区域、破堤点别洪水浸水想定区域図(浸水ナビ)の公表		網走開建		<del></del> 完	5	・平成28年6月30日 告示公表済み ・H28年度末までに浸水ナビについて公表予定	・HPや出前講座等で広報活動を行った ・浸水ナビはH30年3月に公開済み		
な避難 行動の ための 取組	図を選出ののと所は、またに、選出のという。 とは、またののと、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが			振興局		·•• 完	1	- 水位周知河川(生田原川)の浸水想定区域図検討に着手	・水位周知河川について公表 生田原川(H29.9.5指定 第2915号) ・その他の支川も簡易的な手法を用いて実施		
		② 想定最大規模の 条雨による浸水想定	② 想定最大規模の 降雨による浸水想定 区域に基づいた避難	H29年度 から	湧別町	•		• • •		・新たな洪水浸水想定に基づく洪水ハザードマップ整備、避難所 や避難経路の見直の検討	・洪水と土砂災害ハザードマップを更新し、湧別町防災ハザードマップを作成。住民へ全戸配布する予定・ハザードマップ見直し結果を踏まえて、H31年度以降に地域防災計画等へ反映させる予定
		所や避難経路の設	実施	遠軽町					・新たな洪水浸水想定に基づく洪水ハザードマップ整備、避難所 や避難経路の見直し、防災計画等への反映	・新たな洪水浸水想定に基づく洪水ハザードマップの作成・配布、 避難所や避難経路の見直し、防災計画等への反映	
		③ 想定最大規模の 降雨による浸水想定 区域に基づいた、ハ		網走開建					・関係市町について支援を実施	・必要に応じ、引き続き支援を実施していく予定	
		ザードマップの作成、 まるごとまちごとハ ザードマップ(街の中 に想定浸水区域や浸 水深・避難所・避難	H29年度 から 実施	気象台					・必要に応じて支援など行う	・必要に応じて支援など行う	
		経路等を看板等で示す)の検討(支援含		振興局					・必要に応じて支援など行う	・必要に応じて支援など行う	

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関		上段:計画			H28年の取り組み状況	H29年の取り組み状況	H30年以降の取り組み内容
		③ 想定最大規模の 降雨による浸水想定 区域に基づいた、ハ	H29年度	湧別町					・平成25年3月に、浸水範囲、避難場所、避難所を明示したハザードマップを作成し、町民に全戸配布	・最大想定浸水区域公表に伴うハザードマップの見直し、作成に向けた検討 ・まるまちハザードマップ設置検討	・洪水と土砂災害ハザードマップを更新し、湧別町防災ハザードマップを作成。住民へ全戸配布する予定 ・まるまちハザードマップ設置検討
		ザードマップの作成、 まるごとまちごとハ ザードマップ(街の中 に想定浸水区域や浸 水深・避難所・避難	から 実施	遠軽町	•				・平成27年9月に、浸水範囲、避難場所、避難所を明示したハザードマップを作成し、町民に全戸配布	・最大想定浸水区域表示に伴うハザードマップの見直し・作成に 向けた検討 ・まるまちハザードマップ設置検討	・洪水ハザードマップの作成・配布 ・まるまちハザードマップ設置検討
		経路等を看板等で示す)の検討(支援含む)	H28年度 から 実施	広域組合					・消防職・団員を対象とした災害図上訓練を実施し、構成町の災害危険区域、浸水区域、避難所等の把握と、出動時の課題を検討	・発災時の避難誘導活動を想定し、組合構成町のハザードマップ を基に、消防職・団員間で浸水区域・避難所・避難経路等の情報 共有に努める	・前年度から継続し、発災時の避難誘導活動を想定した浸水区 域・避難所・避難経路等の情報共有に努める
			H28年度 から	網走開建	• • •		•••	• • • •	・流域関係機関に冠水する恐れのある道路等のリスト聞き取り調査を実施(2月~3月)	・流域関係機関で共有できる資料の整理及び必要に応じた見直 し、関係機関と協力し、防災ハンドブックの作成を行った) ・道路管理者と連携し、資料整理と共有を図る	・今後、必要に応じて見直しを行っていく
	■洪水に 対してリス クの高い箇 所と、避難		実施	振興局	• • •				・聞き取り調査に協力	・道路管理者と連携し、資料整理と共有を図る	・道路管理者と連携し、必要に応じ見直しを行っていく
迅速か つ確実 な避難	場所・避難経路の把握		H29年度 から	自衛隊			• • •			・共有を図る	・共有を図る
行動の ための 取組	Data y J	④ 円滑な避難行動 のため、道路管理者 との連絡体制網の構 築	実施	北海道 警察			• • •			・共有を図る・共有を図る	
			P構  H28年度 から 実施	湧別町					・聞き取り調査に協力	・道路管理者と連携し、資料整理と共有を図る	・道路管理者と連携し、資料整理と共有を図る
		1		遠軽町					・聞き取り調査に協力	・道路管理者と連携し、資料整理と共有を図る	・道路管理者と連携し、資料整理と共有を図る
				広域組合			• •	• • • •	・構成市町(湧別町・遠軽町)と共有を図る	・道路管理者との既存の連絡体制(暴風雪、交通事故、道路トン ネル災害、油流出など)の整理と共有	・道路管理者との既存の連絡体制(暴風雪、交通事故、道路トン ネル災害、油流出など)の整理と共有
	報、警報等 をわかり切 すく、適切 なタイミン グで確実に	① 住民の避難行動を促すため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報提供や洪水予報等をブッシュ型で情報発信するためのシステム構築	H29年度 までに 実施	網走開建	• •				・スマートフォンによるリアルタイム情報提供を実施	・H29年5月にブッシュ型情報配信を実施	・HPや出前講座等で広報活動を行う ・ブッシュ型情報配信をH30年5月に4水系10市町村に拡大

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関		ケジュー †画、下月 +30 H3	殳:実績		H28年の取り組み状況	H29年の取り組み状況	H30年以降の取り組み内容	
		② メール・テレビ・ラ		湧別町					・サポートメール(登録制)による緊急防災情報配信及び利用促進・自治会連絡網、個別電話連絡及びFAXも含めた様々な情報伝達手段の活用	・引き続き自主防災組織の結成促進やメール配信サービスの利用促進登録制を図る・自治会で自主防災組織の先例地(石狩市)調査を10月に実施・自治会や自主防災組織に対する研修会を2月に実施	・引き続き自主防災組織の結成促進やメール配信サービスの利用促進登録制を図る ・自治会や自主防災組織に対する研修会を継続して実施予定	
		ジオ・サイレン等、多様な手段を用いた避難情報発信体制の 強化及び近隣住民同 士での連絡体制等の 人的ネットワークの 構築	H28年度 から 実施	遠軽町					・サポートメール(登録制)による緊急防災情報配信及び利用促進 ・エリアメールの活用 ・複数の 手段を有機的に組み合わせた情報伝達の方法検討	・引き続き自主防災組織の結成促進やメール配信サービスの利用促進(登録制)を図る ・要配慮者に対する情報伝達手段の検討 ・遠軽町総合防災訓練でエリアメールの配信訓練を実施	・引き続き自主防災組織の結成促進やメール配信サービスの利用促進(登録制)を図る ・要配慮者に対する情報伝達手段の検討 ・遠軽即後ら防災訓練でエリアメールの配信訓練を実施(隔年、次回は平成31年度実施予定)	
	型業業報のの時・1・ツォートが高いでは、    ・			広域組合			• • •		<ul> <li>構成町の避難所開設情報等の収集と防災担当との連絡体制の確認</li> <li>避難情報、警報を消防職・団員へ伝達するため、順次指令システムを活用した情報伝達の活用</li> </ul>	・引き続き実施	・引き続き実施	
		③ わかりやすく、切 迫感の伝わりやすい情報となるよう、洪水 予報文の改良、気象情報発信時の「危険 度色分け」・「警報級 の現象」やメッシュ情報等の改善	H28年度	網走開建	完				・洪水予報伝文の改良済み ・「避難勧告等の判断・伝承マニュアル作成ガイドライン」(平成27 年8月)を平成29年1月に改定			
迅速か つ確実 な避難			H29年度 までに 実施	気象台		完			・洪水予報文の改良済み ・新たなステージに対応した防災気象情報の改善について、H29 出水期前の運用開始に向け作業中	-H29出水期前に新たなステージに対応した防災気象情報の改善 の運用開始		
行動の ための 取組		④ 避難勧告等の発 令を判断するための 情報や、住民への情 報伝達方法及び伝達	H29年度	湧別町				• • •	・避難勧告等の判断・伝達マニュアル(水害編)作成	・避難勧告等の判断・伝達マニュアル(水害編)の検証・見直しを 行った ・避難行動要支援者避難支援ブラン(全体計画)の策定	・必要に応じて、マニュアルの検証・見直しを行う予定 ・避難行動要支援者避難支援プランに基づく名簿作成、個別避難 計画作成の普及促進	
		内容についての町職 員向けマニュアルの 作成や地域防災計	から 実施	遠軽町			• •	• • •	・避難勧告等の判断・伝達マニュアル(水害編)作成	・避難勧告等の判断・伝達マニュアル(水害編)の検証・見直し	・避難勧告等の判断・伝達マニュアル(水害編)の検証・見直し	
		⑤ 訓練を通じ、避難 勧告等の発令に着目	⑤ 訓練を通じ、避難 動告等の発令に着目 H20年度		網走開建						・H29に出水期前にタイムラインに関する意見交換会を開催し精度向上を図る・・遠軽町主催の災害対策本部図上訓練に参加し、関係機関との情報共有を図った・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを行っていく	・必要に応じ、タイムライン見直しを行っていく
		したタイムラインを改良や多機関が連携したタイムラインの作成	から実施	気象台				• • •		・意見交換会に参加する ・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを 行っていく	・意見交換会に参加する ・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを 行っていく	
		成		振興局				• • •		・意見交換会に参加する	・意見交換会に参加する ・水位周知河川について、構成市町と協議し、タイムラインの作成を行っていく	

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケ: (上段:計画 H28 H29 H3		と:実績)	H28年の取り組み状況	H29年の取り組み状況	H30年以降の取り組み内容	
				自衛隊		• • •			- 意見交換会に参加する - 構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを行っていく	・意見交換会に参加する ・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを 行っていく	
				北海道警察		• • •			- 意見交換会に参加する - 構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを 行っていく	・意見交換会に参加する・・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを行っていく	
	をわかりや すく、適切	⑤ 訓練を通じ、避難 勧告等の発令に着目 したタイムラインを改 良や多機関が連携し	H29年度 から	湧別町	_				・意見交換会に参加する ・遠軽町主催の災害対策本部図上訓練に参加し、関係機関との情報共有を図った ・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを 行っていく	・意見交換会に参加する ・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを 行っていく	
		たタイムラインの作	実施	遠軽町					・意見交換会に参加する ・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを 行っていく	- 意見交換会に参加する ・ 構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを 行っていく	
迅速か				広域組合		<b>• • •</b>			- 意見交換会に参加する - 構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを 行っていく	・意見交換会に参加する ・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを 行っていく	
つ確実 な避難 行動の ための 取組	ソ フ ト 対 策			北海道 電力				・社内における緊急パトロール訓練の実施(H28.10.12)	・意見交換会に参加する ・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを 行っていく	・意見交換会に参加する・・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを行っていく	
			H29年度 から 実施	網走開建		•••		・H28出水についてHPで広報	・引き続き関係機関主催の訓練等に参画また、講習会や防災学 習等に参画	・引き続き関係機関主催の訓練等に参画また、講習会や防災学 習等に参画	
		① 住民が参加した 水災害避難訓練、水		から	気象台					・関係機関主催の訓練等に参画また、講習会や防災学習等に参 画	・関係機関主催の訓練等に参画また、講習会や防災学習等に参画
	ク情報の周 知や自助 防災意識	防災に関する講習 会・ワークショップ、 小中学生への防災 教育、湧別川流域ほ か、水害特性を踏ま			振興局		•••			・関係機関主催の訓練等に参画また、講習会や防災学習等に参 画	・引き続き関係機関主催の訓練等に参画また、講習会や防災学 習等に参画
		えた広報活動を実施する		自衛隊					・関係機関主催の訓練等に参画また、講習会や防災学習等に参 画	・関係機関主催の訓練等に参画また、講習会や防災学習等に参画	
				北海道 警察					・関係機関主催の訓練等に参画また、講習会や防災学習等に参 画	・関係機関主催の訓練等に参画また、講習会や防災学習等に参画	

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関		段:計画			H28年の取り組み状況	H29年の取り組み状況	H30年以降の取り組み内容
				湧別町		_			・出前講座、講習会や防災学習等を実施 ・広報紙H28.10月号に水災害に関する特集記事を掲載 ・地域住民、自治会による「北海道地域防災マスター」の認定取 得促進	- 関係機関主催の訓練等に参画 ・出前講座、講習会や防災学習等を実施 ・啓発記事を広報誌のや町HPへの掲載 ・北海道地域防災マスター認定研修会へ参加(2名認定)	- 関係機関主催の訓練等に参画 - 出前講座、講習会や防災学習等を実施 - 啓発記事を広報誌や町HPへ掲載 - 「北海道地域防災マスター」認定研修会の実施
		① 住民が参加した 水災害避難訓練、水 防災に関する講習 会・ワークショッ防災 教育、湧別川流路 か、水害特性を踏ま	H29年度 から 実施	遠軽町					•災害対策本部図上訓練	- 災害対策本部図上訓練の実施 - 遠軽町総合防災訓練の実施 - 関係機関主催の訓練等に参画 - 学校での防災教育や住民への出前講座の実施	- 災害対策本部図上訓練の実施 - 関係機関主催の訓練等に参画 - 学校での防災教育や住民への出前講座の実施 - 遠軽町総合防災訓練の実施(隔年、次回は平成31年度実施予定)
		えた広報活動を実施する		広域組合		_	・関係機関主催の訓練等に参画また、講習会や画		・関係機関主催の訓練等に参画また、講習会や防災学習等に参 画	・関係機関主催の訓練等に参画また、講習会や防災学習等に参画	
	D確実 透離 情報自助 方が が が が が が が の の の の の の の の の の の の の			北海道 電力		_	• • •	•••		・必要により関係機関主催の訓練等に参画また、講習会や防災 学習等に参画	・必要により関係機関主催の訓練等に参画また、講習会や防災 学習等に参画
迅速か			H29年度 から 実施	振興局		_	• • •			- 要配慮者施設情報の基礎資料整理	・要配慮者施設情報の基礎資料提供
つ確実 な避難 行動の た組		② 要配慮者利用施		湧別町		• •	•••			一 一	・町ハザードマップに基づき、洪水浸水想定区域及び土砂災害警戒区域内に立地する要配慮者利用施設について、町地域防災計画へ登載し、避難確保計画作成について助言・指導
		設に係る避難確保計画の作成	H30年度 から 実施	遠軽町			• •				<ul> <li>要配慮者利用施設に係る避難確保計画作成時の助言</li> <li>要配慮者利用施設が作成する消防計画書の項目「自然災害」</li> <li>(風水害、土砂災害)中での作成を検討</li> </ul>
				広域組合	+	<b></b>	• • •				・要配慮者利用施設の消防計画の作成状況について、構成町と の情報共有
				湧別町			• • •				・要配慮者利用施設に係る避難確保計画に基づく避難訓練の企画・立案・実施について協力・支援
		③ 要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく避難訓練の実	H31年度 から 実施	遠軽町			• • •				・要配慮者利用施設に係る避難確保計画に基づく避難訓練実施 時の助言
			の避無唯体計画に		広域組合				•••		

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関			ュール 下段:実績) H31 H32 H	_	H28年の取り組み状況	H29年の取り組み状況	H30年以降の取り組み内容
		① 国管理区間 ・浸透対策 (野上左岸地区、中 湧別地区)	H32年度 までに 実施	網走開建			•••	ı	【浸透対策】 中湧別地区	【浸透対策】 野上左岸地区	【浸透対策】 遠軽左岸
	■洪水氾 濫を未然に 防ぐ対策	② 北海道管理区間 ・河川整備 (生田原川、サナブチ 川)・水防拠点の設置 検討 (生田原川)・適切な河道の維 持管理 (河道掘削、 伐木 等)	H28年度 から 実施	振興局		_			【河道掘削】 生田原川、サナブチ川 【堤防整備】 ・生田原川 「河道の維持】 ・道管理河川において、伐木等を実施	【河道掘削】 ・生田原川、サナブチ川 【堤防整備】 ・生田原川 【河道の維持】 ・道管理河川において、伐木等を実施	【河道掘削】 ・生田原川、サナブチ川 【堤防整備】 ・生田原川、中ノ沢川 【河道の維持】 ・道管理河川において、伐木等を実施予定
	■監視体 制の強化	① 湧別川のほか中 小河川など、水害リ スクの高い箇所の状 況が把握できるよう、 現地観測杭・CCTV カメラの設置等、観 測機器の調査検討	H28年度 から 実施	網走開建	-	_		1	・水害リスクの高い箇所の状況が把握できるよう、現地観測杭を 設置。また水害リスクの高い箇所に水位計を設置(KP2.2右岸、 KP22.8左岸) ・水位計設置箇所の検討と簡易水位計の購入	・引き続き、計画的に水害リスクの高い箇所に水位計を設置 ・簡易水位計の資料収集(視察) ・危機管理システムの勉強会を実施	・危機管理型システム委託検討を実施 ・引き続き、計画的に水害リスクの高い箇所に水位計を設置
迅速か つ確実 な水防	к   		H29年度 から 実施	振興局			• • • • • •	•••		・水害リスクの高い箇所点検や監視体制の検討を行う ・簡易水位計の整備検討を実施	・水害リスクの高い箇所に、簡易水位計設置を行う
活動のための取組	対策	2 2 3	H28年度 から 実施	網走開建					・現況の水防備蓄量の確認を実施 新技術の資材等調べ ・水防拠点や備蓄基地の配置の検討を実施	・水防拠点や備蓄基地について必要性の検討及び配置の検討を 行う	・水防拠点や備蓄基地について必要性の検討及び配置の検討を 行う
			H29年度 から 実施	振興局				• •		・遠軽町と水防資機材の備蓄基地に使用できる土地の賃借等に ついて、調整を行っている	・引き続き遠軽町と水防資機材の備蓄基地に使用できる土地の 賃借等について、調整を行う ・保有ブロック数、ヤード規模の検討を行う予定
	■水防活	① 水防資機材の備蓄基地等の配置や、	H28年度	自衛隊	• • •				・防災装備品を計画的に整備している	・引き続き、計画的に整備	・引き続き、計画的に整備予定
	動の資機材整備	資機材量の検討と新技術を活用した資機材の検討・配備	から 実施	湧別町		_			・小型発電機5基、投光機5基を購入、町内3箇所の備蓄庫に配備	・備蓄資材保管庫及び各避難所への備蓄を実施	- 備蓄資材保管庫及び各避難所への備蓄を継続して行う - 出水状況及び被災状況等の把握のため、UAV(ドローン)の導 入と職員の操作訓練を実施
			H29年度	遠軽町					・本所、各総合支所に水防拠点として水防資材を備蓄している	・水防資機材量の検討	・水防資機材量の検討
		ŀ	から 実施	広域組合						・構成町で整備した水防資機材に関し、実動部隊となる消防職・ 団員への情報共有を図る	・構成町で整備した水防資機材に関し、実動部隊となる消防職・ 団員への情報共有を図る

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジ 上段:計画 H29 H30			- H28年の取り組み状況	H29年の取り組み状況	H30年以降の取り組み内容
				網走開建	 _			・保有状況確認と状態点検を実施 ・関係機関に対して保有箇所・状況の聞き取り調査を実施(2月~ 3月)	・出水来前までに関係機関の保有状況をとりまとめ整理し、情報 共有を行う(関係機関と協力し、防災ハンドブックの作成を行った) ・今後、必要に応じて見直しを行っていく	・今後、必要に応じて見直しを行っていく
				振興局				-聞き取り調査に協力	・保有状況の情報共有を行う ・資機材補充の検討	・関係機関と連携し、必要に応じ見直しを行っていく
	■水防活動に必要な	① 迅速な水防活動 を支援するため、水 防資機材等の保有 状況の情報を共有し	H28年度 から	自衛隊		•••		-聞き取り調査に協力	・共有を図る	-共有を図る
	な情報の 共有	② 毎年、重要水防 箇所の見直しを行い、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施する経験の 乏しい人員に、土地勘とはりやすい巡視マップの作成及び定期的な情報共有を行う	実施	湧別町	 _			-聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図る	・資料整理への協力と共有を図る
迅速かつ確実	ע			遠軽町	 			-聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図る	・資料整理への協力と共有を図る
な水動のための取組	フト対策			広域組合				-聞き取り調査に協力	・共有を図る ・引き続き、資機材等の保有状況の確認と情報共有及び点検を 実施	・共有を図る ・引き続き、資機材等の保有状況の確認と情報共有及び点検を 実施
			の見直しを行 (防団や住民が する水害リスク い箇所の共同点 実施するととも 土地勘や経験の まに出りかか けい巡視でプップ 成及び定期的な	網走開建	_			・巡視マップの作成を実施 ・関係機関と一体となって共同点検を実施 ・重要水防箇所の見直しを実施	・巡視マップを更新すると共に関係機関へ情報共有を図る ・関係機関と共同点検を実施 ・引き続き、重要水防箇所の見直しを行う	・巡視マップを更新すると共に関係機関へ情報共有を図る・関係機関とのほか住民等を交えた共同点検を実施予定・引き続き、重要水防箇所の見直しを行う
	■水防活動に必要な情報の			振興局		• • • •			・関係機関のほか住民等を交えた共同点検に参加	・関係機関のほか住民等を交えた共同点検に参加予定
	共有			自衛隊					・関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施	・関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施予定
			引き続き 実施	湧別町			• • •	・関係機関と一体となって共同点検を実施	・関係機関と共同点検を実施 ・独自の危険箇所マップを作成し、パトロール強化を図った	・関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施予定・必要に応じて、独自の危険箇所マップを見直し、パトロール強化を図る・道区間の共同点検に参加予定

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュー 計画、T H30 H	下段:実		- H28年の取り組み状況	H29年の取り組み状況	H30年以降の取り組み内容
		② 毎年、重要水防 箇所の見直しを行 い、水防団や住民が	引き続き	遠軽町		•••		- 関係機関と一体となって共同点検を実施 ・その他の河川については、出水期前及び出水時には土木担当 課を中心に適宜実施	・関係機関と共同点検を実施	・関係機関と共同点検を実施 ・出水期前の道区間の共同点検に参加予定
	■水防活動に必要な情報の 共有	参加する水害リスク の高い箇所の共同点 検を実施するととも に、土地勘や経験の 乏しい人員にも分か	実施	広域組合				・関係機関と一体となって共同点検を実施	・関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施	・関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施
		りやすい巡視マップ の作成及び定期的な 情報共有を行う	H29年度 から 実施	北海道 電力	  	• • • •	•••		・必要により関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施	・必要により関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施予 定
	は水防 フト 舌動の 対策 収組 ■水防活 動体制の による河岸的 強化 ナリオに組み			網走開建	 	• • • •			・実動訓練のためのシナリオ作成の基礎資料として、河岸侵食対応事例の収集を実施した。	・実動訓練のためのシナリオ検討を行い、関係機関と一体となった実動訓練の実施を行う
				気象台	 	• • •			-各自治体等主催の訓練等に参画	・各自治体等主催の訓練等に参画
つ確実 な水防 活動の ための				振興局					・各自治体等主催の訓練等に参画・引き続き関係	・引き続き関係機関主催の訓練などに参画
· 月X 小丘		① 関係機関が連携	・各自治体等主催の訓練等に参画	・各自治体等主催の訓練等に参画						
		による河岸侵食をシナリオに組み込んだ、水防訓練の実施	から 実施	北海道警察	 	• • •			・各自治体等主催の訓練等に参画	・各自治体等主催の訓練等に参画
				湧別町					-町も協力している自治会主体の訓練に反映 -町内建設業協会との災害時協力体制に関する協定締結	・町職員及び消防職員による水害図上訓練の実施 ・町内建設業協会との災害時協力体制は、必要に応じて見直しを 行う
				遠軽町	 	• • •			・町も協力している自治会主体の訓練に反映	・町も協力している自治会主体の訓練に反映
					広域組合	 	• • •			-各自治体(水防管理団体)等主催の訓練等に参画

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	(上段:	スケジュール 計画、下段 H30 H31	と: 実績		H28年の取り組み状況	H29年の取り組み状況	H30年以降の取り組み内容
				網走開建					・リーフレットやHPを通じ、水防活動の担い手となる水防団員(消防団員)の募集を行う ・滅災協議会で水防協力団体の説明を実施	- 引き続き継続実施	·引き続き継続実施
				振興局					・ポスター掲示やリーフレット配布を通じ水防活動の担い手となる 水防団員の募集を行う	•引き続き継続実施	·引き続き継続実施
迅速か つな水動の 活動の 取組	ソフ ■水防活 動体制の 対 強化	② 水防活動の担い 手となる水防団員 (消防団員)の募集 (リーフレットやHPを 通じた広報活動)や 水防協力団体の募集・指定の促進	H28年度 から 実施	湧別町				• • •	・遠軽地区広域組合消防本部と協力し、水防団員(消防団員)募 集に係る広報、ポスター掲示やパンフレット配布を実施	<ul> <li>・水防団員(消防団員)募集に係る広報、ポスター掲示やパンフレット配布</li> <li>・町新入職員の積極的な入団促進</li> </ul>	<ul><li>・水防団員(消防団員)募集に係る広報、ポスター掲示やパンフレット配布</li><li>・町新入職員の積極的な入団促進</li></ul>
	· 指汉	果・指定の促進		遠軽町					・ポスターの掲示等、広域組合の募集活動に協力	・引き続き水防(消防)団員や水防協力団体の募集及び指定促進 を継続実施	・引き続き水防(消防)団員や水防協力団体の募集及び指定促進 を継続実施
				広域組合				• • •	・消防団員として入団した者に対する教育、訓練の機会に、水防 事務についての教養を図る	·引き続き継続実施	·引き続き継続実施
				網走開建					・関係機関に対して保有箇所・状況の聞き取り調査を実施中(2月 ~3月)	・流域関係機関で共有できる資料の整理を行う予定(関係機関と協力し、防災ハンドブックの作成を行った)・必要な資機材の配備検討を行う・今後、必要に応じて見直しを行っていく	・今後、必要に応じて見直しを行っていく
				自衛隊			• • •	• • •		・共有を図る・共有を図る	
効率的・		① 排水ポンプ車 等、排水活動に必要 な資機材の整備検討	H28年度 から 実施	湧別町				• • •	・聞き取り調査に協力	・共有を図る ・必要な資機材の配備検討を行う	- 共有を図る - 必要な資機材の配備検討を行う - 排水用水中ポンプ3基 (8インチ11kw) 整備予定
対策が活動の取組	加率的・ 加果的 に排水 に動の が開かる に対する に対する に対する に対する が に対する は対する 対する は対する は対する は対する は対する は対する は対			遠軽町				• • •	・聞き取り調査に協力 ・排水ポンブ車購入(H24年度購入) ・照明車購入(H28.6.23購入)	-共有を図る	・共有を図る
				広域組合				• • •	・聞き取り調査に協力	-共有を図る	・共有を図る
		❷ 排水活期を行う ┃	H28年度 . から	網走開建			• • •	• • •		・排水方法の検討を行うと共に、それに必要な施設の検討	・排水方法の検討を行うと共に、それに必要な施設の検討
		スペースの整備検討	実施	振興局							・道区間における浸水範囲(実績等)を踏まえ、氾濫常襲地帯等の把握に努める

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関		段:言		下段:	実績) 32 H3	33	H28年の取り組み状況	H29年の取り組み状況	H30年以降の取り組み内容
				網走開建	-			• • •			流域関係機関が保有する排水資機材の聞き取り調査を実施中	<ul><li>検討のための資料収集を行い、とりまとめを行った。</li></ul>	・排水計画策定のための検討を実施し、策定する
		① 既設排水系統を 関係機関と共有し、		振興局			• • •			聞き取り調査に協力	・網走開発建設部と連携し整理を図る	・関係機関と連携し整理を図る	
		資機材搬入経路と想定排水箇所の設定 や排水機場の操作 要領見直し検討を行い、排水ポンプ車等	H29年度 から 実施	湧別町			• • •	•••			聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図る	・資料整理への協力と共有を図る
	を活用した排水計画 の作成 リフ 世排水活 計動の体制		遠軽町						聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図る	- 資料整理への協力と共有を図る		
は排水 に			広域組合	組合		•••				聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図る	・資料整理への協力と共有を図る	
活動の対象の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	強化		引き続き 実施	網走開建		_	•••	•••		• • • H	引き続き計画的に継続実施 128:北見地区、美幌地区、湧別地区で実施(10回開催)	・引き続き計画的に継続実施 今後は流域関係機関へも声かけを実施	・引き続き計画的に継続実施 ・幅広に関係機関への声かけを実施
	振興局 振興局 ・ポンプ排水訓練に参画	・ポンプ排水訓練に参画											
		② 排水ポンプ車等を使用した、関係機関共同での排水訓練の実施	係機   日29年度	湧別町	<u> </u>		+	•••	• • •	•		・ポンプ排水訓練に参画	-ポンプ排水訓練に参画
				遠軽町	 		•••	•••	• • • •	•		・ポンプ排水訓練に参画 ・遠軽町総合防災訓練において、町保有のポンプ車設置訓練を 実施	・ポンプ排水訓練に参画 ・遠軽町総合防災訓練において、町保有のポンプ車を使用した訓練を検討(隔年、次回は平成30年度実施予定)
		- -	引き続き 実施	広域組合			• •			••	当組合所有資機材の取り扱い訓練を定期的に実施	- ポンプ排水訓練に参画	・ポンプ排水訓練に参画

# H29年度における 湧別川ほか 減災に関する取組み状況 (フォローアップ)

## フォローアップ(H29年度)取組状況

~1) 迅速かつ確実な避難行動のための取組~

- ①ハード対策
- ■危機管理型ハード対策

課題対応:A

- ①国管理区間【平成32年度までに実施:網走開建】
- ・堤防天端の保護(湧別左岸地区、遠軽右岸地区)
- ②北海道管理区間 【平成28年度から実施:振興局】
  - ・堤防天端の保護箇所の検討と実施

## ①【平成32年度までに実施:網走開建】

## 堤防天端の保護





## ②【平成28年度から実施:振興局】

堤防天端の保護範囲を検討中



## フォローアップ (H29年度) 取組状況 ~1) 迅速かつ確実な避難行動のための取組~

- ①ハード対策
- ■防災活動のためのハードの整備及び有効活用の取組

課題対応:a

- ①防災拠点施設の強化
  - 防災行政無線の整備及び更新
  - ・防災拠点施設における自家発電機等の改良検討及び防災拠点代替施設検討

【平成29年度から実施:湧別町,遠軽町】

## ①【平成29年度から実施:湧別町、遠軽町】

## 【湧別町】

- ・防災行政無線更新(デジタル化H34.11末まで)に向けて、検討を行った。 引き続き検討を行い、整備する予定
- ・防災拠点施設における自家発電機等の改良検討を行った。H30年度以降も、引き続き検討を行う
- ・防災拠点代替施設の指定を含む町の業務継続計画(BCP)策定を検討する

### 【遠軽町】

- ・防災無線の整備に向けた検討を行った。防災無線のデジタル化整備予定
- ・防災拠点代替施設の検討を行った。防災拠点代替施設は、引き続き検討を行う

## フォローアップ(H29年度)取組状況 ~1

## ~1) 迅速かつ確実な避難行動のための取組~

- ②ソフト対策
- ■洪水に対してリスクの高い箇所と、避難場所・避難経路の把握

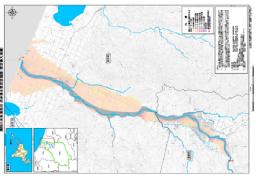
課題対応: B, b, C

- ①想定最大規模の降雨による浸水想定区域、家屋倒壊等氾濫想定区域、破堤点別洪水浸水想定区域図(浸水ナビ)の公表 【平成28年度:網走開建】【平成30年度までに実施:振興局】
- ②想定最大規模の降雨による浸水想定区域に基づいた避難所や避難経路の設定【平成29年度から実施: 湧別町.遠軽町】
- ①【平成28年度:網走開建】

【平成30年度までに実施:振興局】

### 【網走開建】

平成28年6月30日 告示公表済み



浸水ナビの整備(H30年3月末公開予定)



■網走開発建設部 浸水想定区域図より 網走開発建設部ホームページ http://www.ab.hkd.mlit.go.jp/

## 【振興局】

- 7 ( ( · 2 · 2
- ・水位周知河川について公表 生田原川

(H29.9.5指定 第2915号)

- ・その他の支川も簡易的な手法 を用いて実施
- ■網走建設管理部 浸水想定区域図より 網走建設管理部ホームページ http://www.Okhotsk.pref.Hokkaido.lg.jp/

## ②【平成29年度から実施:湧別町,遠軽町】

### 【湧別町】

- ・新たな洪水浸水想定に基づく洪水ハザードマップ整備、避難所 や避難経路の見直し、防災計画等への反映
- ・洪水ハザードマップ、避難所や避難経路の見直しを行い、H30年 度作成予定
- ・ハザードマップ見直し結果を踏まえて、H31年度以降に地域防災計画等へ反映させる予定

### 【遠軽町】

- ・新たな洪水浸水想定に基づく洪水ハザードマップ整備、避難所 や避難経路の見直し、防災計画等への反映
- ・引き続き、新たな洪水浸水想定に基づく洪水ハザードマップ、避難所や避難経路の見直しを行う。洪水ハザードマップ作成後、配布予定。見直し後、地域防災計画等へ反映させる

## フォローアップ (H29年度) 取組状況

## ~1) 迅速かつ確実な避難行動のための取組~

## ②ソフト対策

■洪水に対してリスクの高い箇所と、避難場所・避難経路の把握

課題対応: B, b, C

③想定最大規模の降雨による浸水想定区域に基づいた、ハザードマップの作成、まるごとまちごとハザードマップ(街の中に想定浸水区域や浸水深・避難所・避難経路等を看板等で示す)の検討(支援含む)

【平成28年度から実施:広域組合】【平成29年度から実施:網走開建,気象台,振興局,湧別町,遠軽町】

④円滑な避難行動のため、道路管理者との連絡体制網の構築

【平成28年度から実施:網走開建,振興局,湧別町,遠軽町,広域組合】【平成29年度から実施:自衛隊,北海道警察】

③【平成28年度から実施:広域組合】

【平成29年度から実施:網走開建,気象台,

振興局,湧別町,遠軽町】

### 【広域組合】

発災時の避難誘導活動を想定し、組合構成町のハザードマップを 基に、消防職・団員間で浸水区域・避難所・避難経路等の情報共 有に努める

### 【湧別町】

最大想定浸水区域公表示に伴うハザードマップの見直しまるまち ハザードマップ設置検討

### 【遠軽町】

- ・最大想定浸水区域表示に伴うハザードマップの見直し・作成に 向けた検討
- まるまちハザードマップ設置検討

### 【網走開建】

関係市町について支援を実施

## 【気象台,振興局】

必要に応じて支援など行う

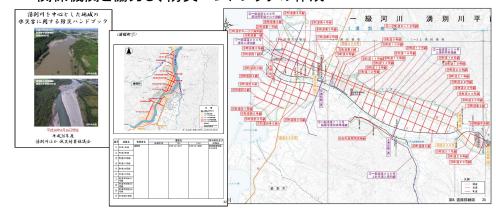
④【平成28年度から実施:網走開建,振興局,

湧別町,遠軽町,広域組合】

【平成29年度から実施:自衛隊,北海道警察】

### 【網走開建】

関係機関と協力し、防災ハンドブックの作成



### 【振興局,湧別町,遠軽町】

道路管理者と連携し、必要に応じ見直しを行っていく

### 【広域組合】

道路管理者との既存の連絡体制(暴風雪、交通事故、道路トンネル 災害、油流出など)の整理と共有

## 【自衛隊,北海道警察】

共有を図る

## ②ソフト対策

課題対応: D

- ■避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組
- ①住民の避難行動を促すため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報提供や洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築

【平成29年度までに実施:網走開建】

## ①【平成29年度までに実施:網走開建】

プッシュ型情報配信をH30年5月に4水系10市町村に拡大

### 緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信

~平成30年5月1日から、配信対象エリアを4水系10市町村に拡大します~

国土交通省では、「水防災意識社会 再構築ビジョン」のもと、洪水時に住民の主体的な避難を促進するため、平成28年9月から緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信に取り組んでいます。

北海道開発局網走開発建設部では、昨年5月1日から2水系の沿川5市町村において実施しておりますが、このたび、平成30年5月1日から配信対象エリアを拡大し、2水系5市町村において配信することとしましたので、お知らせいたします。

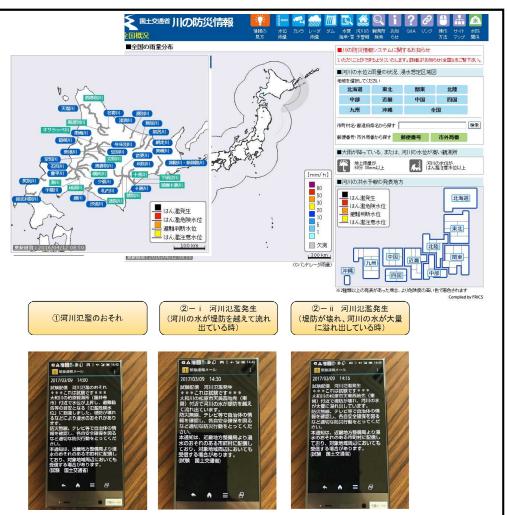
※ 洪水情報とは、洪水予報指定河川の氾濫危険情報(レベル4)及び氾濫発生情報(レベル5)の発表を契機として、住民の主体的な避難を促進するために配信する情報です。



洪水情報のプッシュ型配信イメージ

※今回のメール配信は、国土交通省が発信元となり、携帯電話事業者が提供する「緊急速報メール」のサービスを活用して洪水情報を携帯電話ユーザーへ周知するものであり、洪水時に住民の主体的な避難を促進する取組みとして国土交通省が実施するものです。

携帯電話事業者ごとの基地局や通信システムの関係により、配信対象となる市町村よりも広範囲のエリアに緊急速報メールが送信されることがあります。



②ソフト対策

課題対応:D,E

- ■避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組
- ②メール・テレビ・ラジオ・サイレン等、多様な手段を用いた避難情報発信体制の強化及び近隣住民同士での連絡体制等の人的ネットワークの構築

【平成28年度から実施:湧別町,遠軽町,広域組合】

③わかりやすく、切迫感の伝わりやすい情報となるよう、洪水予報文の改良、気象情報発信時の「危険度色分け」・「警報級の現象」やメッシュ情報等の改善

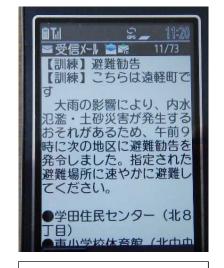
【平成28年度:網走開建】【平成29年度までに実施:気象台】

## ②【平成28年度から実施:湧別町,遠軽町,広域組合】





【湧別町】 自治会・自主防災組織による 先例地(石狩市)調査



【遠軽町】 エリアメール配信訓練

【広域組合】 引き続き実施

# ③【平成28年度:網走開建】 【平成29年度までに実施:気象台】

### 【網走開建】

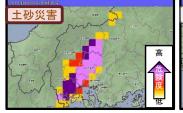
洪水予報伝文の改良済み

### 【網走地方気象台】

- •平成29年5月17日提供開始
- 〇気象警報•注意報
- 「危険度を色分けした時系列」
- 〇5日先までの「警報級の可能性」
- •平成29年7月4日提供開始
- 〇メッシュ情報の充実 従来の「土砂災害」に加え「浸水害」と 「洪水害」の危険度分布

		暴風, 高潮泊			· 大i	雨,	雪,》	農霧流	主意幸	艮	
	×× ħ	ī		今後	後の推	移(■	警報絲	及 □ ½	主意報	級)	
	発表中の	)	7日				8	日			
警報・	注意報等	の種別	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24
	1時間最		10	10	30	30	50	50	50	30	
NRI .	(ミリ) (浸水害)										
暴風	風向 風速	陸上	15	<b>₹</b>	<b>₩</b>	<b>2</b> 2	22V	<b>₹</b> \$	43	43	<u> </u>
泰四	(矢印・ メートル)	海上	20	22	<b>₹</b> 5	<b>₹</b> }	₹\$}	<b>₽</b>	₹ <u>₽</u>	<b>20</b>	<u></u>
波浪	波高(メ	ートル)	5	5	8	8	8	9	8	7	7
高潮	潮位(メ	ートル)	0.7	0.7	0.8	1.0	1.8	2.0	1.8	1.2	1.2

北海道北見地方			警報級の可能性								
	29	日		30日					ı		
種別	夕方まで	夜~明	月け方	朝~夜遅く	31日	1日	2日	3日			
	12-18	18	-6	6-24							
大雨	-	-	-	[高]	[高]	[中]	-	-			
大雪	-	-	-	-	-	-	-	-			
暴風 (暴風雪)	-	-	-	[高]	[高]	[中]	[中]	_			







## フォローアップ(H29年度)取組状況

## ~1) 迅速かつ確実な避難行動のための取組~

②ソフト対策

課題対応:

- ■避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組
- ④避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法及び伝達内容についての町職員向けマニュアルの 作成や地域防災計画の見直し

【平成29年度から実施: 湧別町.遠軽町】

- ⑤訓練を通じ、避難勧告等の発令に着目したタイムラインを改良や多機関が連携したタイムラインの作成 【平成29年度から実施:網走開建、気象台、振興局、自衛隊、北海道警察、湧別町、遠軽町、広域組合、北海道電力】
- ④【平成29年度から実施:湧別町.遠軽町】 【湧別町.遠軽町】 地域防災計画等の見直しを実施 群難勧告等の判断・伝達マニュアル **涌别町水防計画** 读軽町地域防災計画 湧別町地域防災計画 平成2 遠軽町防災会議 平成 29 年 7 月

(5)【平成29年度から実施:網走開建,気象台,振興局,自衛隊, 北海道警察.湧別町.遠軽町.広域組合.北海道電力】

### 【網走開発】

必要に応じタイムラインを見直しを行っていく

タイムラインの検討・運用で様々な機関や人を繋ぐ



### 【振興局】

水位周知河川について、構成市町と協議し、タイムラインの 作成を行っていく

【気象台,自衛隊,北海道警察,湧別町,遠軽町,広域組合,北海道電力】 意見交換に参加する

## フォローアップ (H29年度) 取組状況

## ~1) 迅速かつ確実な避難行動のための取組~

## ②ソフト対策

- ■水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発
- ①住民が参加した水災害避難訓練、水防災に関する講習会・ワークショップ、小中学生への防災教育、湧別川流域のほか、 水害特性を踏まえた広報活動を実施する

【平成29年度から実施:網走開建,気象台,振興局,自衛隊,北海道警察,湧別町,遠軽町,広域組合,北海道電力】

①【平成29年度から実施:網走開建,気象台,振興局,自衛隊,北海道警察,湧別町,遠軽町,広域組合,北海道電力】

### 【遠軽町】

住民が参加した水災害避難訓練の実施





### 【北海道警察】

- ・警察活動を通じた防災広報の実施
- 警察職員の防災意識の醸成





【湧別町】



小中学生を対象とした 水防災教育の実施

関係機関の職員及び住民等を対象とした水防災に関する 講習会の実施





【網走開建,気象台,振興局,

自衛隊,広域組合,北海道電力】 引き続き関係機関の訓練等に参画また、 講習会や防災学習に等に参画

## フォローアップ(H29年度)取組状況

## ~1) 迅速かつ確実な避難行動のための取組~

## ②ソフト対策

■水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発

課題対応: C,

②要配慮者利用施設に係る避難確保計画の作成

【平成29年度から実施:振興局】

【平成30年度から実施:湧別町,遠軽町,広域組合】

③要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく避難訓練の実施

【平成31年度から実施:湧別町,遠軽町,広域組合】

②【平成29年度から実施:振興局】

【平成30年度から実施:湧別町,遠軽町,広域組合】

## 【振興局】

要配慮者施設情報の基礎資料整理

### 【湧別町】

要配慮者利用施設に係る避難確保計画作成時の助言

### 【遠軽町】

- 要配慮者利用施設に係る避難確保計画 作成時の助言
- 要配慮者利用施設が作成する消防計画書の項目 「自然災害」(風水害、土砂災害)中での作成を検討

## 【広域組合】

要配慮者利用施設の消防計画の作成状況について、構成町との情報共有

③【平成31年度から実施:湧別町,遠軽町,広域組合】

## 【湧別町】

要配慮者利用施設に係る避難確保計画に基づく避難訓練実施時の助言

## 【遠軽町】

要配慮者利用施設に係る避難確保計画に基づく避難訓練実施時の助言

## 【広域組合】

- ・避難確保計画に基づく避難訓練への協力
- ・火災に関する避難訓練との連携

## フォローアップ (H29年度) 取組状況 ~2) 迅速かつ確実な水防活動のための取組~

- ①ハード対策
- ■洪水氾濫を未然に防ぐ対策

課題対応:H

- (1)国管理区間 【平成32年度までに実施:網走開建】
  - •浸透対策(野上左岸地区、中湧別地区)
- ②北海道管理区間 【平成28年度から実施:振興局】
  - 河川整備:河道掘削、堤防整備(生田原川、サナブチ川)
  - ・水防拠点の設置検討(生田原川)
  - ・適切な河道の維持管理(河道掘削、伐木等)

## ①【平成32年度までに実施:網走開建】

### 浸透対策



## ②【平成28年度から実施:振興局】

## 河道掘削(生田原川)



適切な河道の維持管理 (伐木等)



- ①ハード対策
- ■監視体制の強化

課題対応: I

①湧別川のほか中小河川など、水害リスクの高い箇所の状況が把握できるよう、現地観測杭・CCTVカメラの設置等、観測機器の調査検討及び監視体制の強化を図る【平成28年度から実施:網走開建】【平成29年度から実施:振興局】

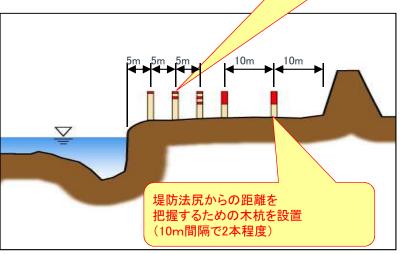
①【平成28年度から実施:網走開建】【平成29年度から実施:振興局】

## 【網走開建】

河岸状況の監視 (CCTVの設置と状況把握)









●UAV (無人航空機)等の新技術を活用し上空から の侵食状況や上下流の澪筋などの把握を実施し、 管理体制の強化を図る。

### 【振興局】

- ・水害リスクの高い箇所の点検や監視体制の 検討を実施
- 北海道の管理河川において、危機管理型水 位計(簡易水位計)の配置検討を行っている

## フォローアップ (H29年度) 取組状況

## ~2) 迅速かつ確実な水防活動のための取組~

- ①ハード対策
- ■水防活動の資機材整備

課題対応:

①水防資機材の備蓄基地等の配置や、資機材量の検討と新技術を活用した資機材の検討・配備 【平成28年度から実施:網走開建,自衛隊,湧別町】【平成29年度から実施:振興局,遠軽町,広域組合】

①【平成28年度から実施:網走開建,自衛隊,湧別町】【平成29年度から実施:振興局,遠軽町,広域組合】

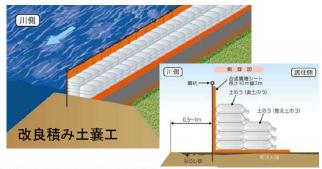
### 【網走開建】

水防拠点や備蓄基地について必要性の検討及び

配置の検討を行う



新技術を活用した資機材の配備



## 【自衛隊】 引き続き計画的に整備

## 【湧別町】

備蓄資材保管庫及び各避難所への備蓄を継続して行う

### 【振興局】

遠軽町と水防資機材の備蓄基地に使用できる土地の 賃借等について、調整を行っている



## 【遠軽町】

水防資機材量の検討

## 【広域組合】

構成町で整備した水防資機材に関し、実動部隊となる 消防職・団員への情報共有を図る

- ②ソフト対策
- ■水防活動に必要な情報の共有

- 課題対応:K,L
- ①迅速な水防活動を支援するため、水防資機材等の保有状況の情報を共有しておくとともに、定期的な資材の状態点検を 行う【平成28年度から実施:網走開建,振興局,自衛隊,湧別町,遠軽町,広域組合】
- ②毎年、重要水防箇所の見直しを行い、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施するとともに、 土地勘や経験の乏しい人員にも分かりやすい巡視マップの作成及び定期的な情報共有を行う

【引き続き実施:網走開建,湧別町,遠軽町,広域組合】【平成29年度から実施:振興局,自衛隊,北海道電力】

①【平成28年度から実施:網走開建,振興局,

自衛隊,湧別町,遠軽町,広域組合】

【網走開建】

関係機関と協力し、防災ハンドブックの作成



【湧別町,遠軽町】 資料整理への協力と共有を図る 【自衛隊,広域組合】 共有を図る ②【引き続き実施:網走開建,湧別町,遠軽町,広域組合】 【平成29年度から実施:振興局,自衛隊,北海道電力】

【網走開建, 湧別町,遠軽町,広域組合】 関係機関と共同点検を実施





上空から危険箇所に 関する合同調査 H29.06.09 湧別町実施 H29.10.31 遠軽町実施

災害対策用ヘリコプター「ほっかい」

資料を

土地勘がなく経験の少ない人員にも分かりやすい資料を 作成し、関係機関に対して、定期的に情報共有する



【振興局,自衛隊,北海道電力】 関係機関のほか住民等を交えた共同点検に参加

- ②ソフト対策
- ■水防活動体制の強化

課題対応: L, M

- ①関係機関が連携した、高速な洪水流による河岸侵食をシナリオに組み込んだ、水防訓練の実施【平成29年度から実施:網走開建,気象台,振興局,自衛隊,北海道警察,湧別町,遠軽町,広域組合】
- ②水防活動の担い手となる水防団員(消防団員)の募集(リーフレットやHPを通じた広報活動)や水防協力団体の募集・指 定の促進【平成28年度から実施:網走開建,振興局,湧別町,遠軽町,広域組合】
- ①【平成29年度から実施:網走開建,気象台,振興局,自衛隊, 北海道警察,湧別町,遠軽町,広域組合】







関係機関が連携した 水防訓練を継続実施



【網走開建,気象台,振興局,自衛隊,北海道警察,湧別町,遠軽町,広域組合】 関係機関主催の訓練などに参画

## ②【平成28年度から実施:網走開建,振興局, 湧別町,遠軽町,広域組合】

【網走開建,振興局,広域組合】 引き続き継続実施

### 【湧別町】

水防団員(消防団員)募集に係る広報、ポスター掲示やパンフレット配布

### 【遠軽町】

引き続き水防(消防)団員や水防協力団体の募集及び 指定促進を継続実施

パンフレットによる水防団員募集





## フォローアップ(H29年度)取組状況

~3) 効率的・効果的な排水活動のための取組~

- ①ハード対策
- ■排水活動の資機材整備

課題対応:N

①排水ポンプ車等、排水活動に必要な資機材の整備検討

【平成28年度から実施:網走開建,自衛隊,湧別町,遠軽町,広域組合】

②排水活動を行うスペースの整備検討

【平成28年度から実施:網走開建,振興局】

①【平成28年度から実施:網走開建,自衛隊,

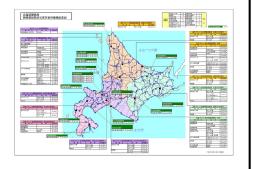
湧別町.遠軽町.広域組合】

### 【網走開建】

関係機関と協力し、防災ハンドブックの作成







【自衛隊,湧別町,遠軽町,広域組合】 資料整理への協力と共有を図る

排水活動に必要な資機材の整備検討







## ②【平成28年度から実施:網走開建振興局】

### 【網走開建】

排水方法の検討を行うと共に、それに必要な施設の検討

排水活動を行うスペースの整備検討



内水排水のイメージ図



ポンプ車による内水排除の状況



釜場の整備検討

【振興局】 未実施

## フォローアップ(H29年度)取組状況

## ~3) 効率的・効果的な排水活動のための取組~

- ②ソフト対策
- ■排水活動の体制強化

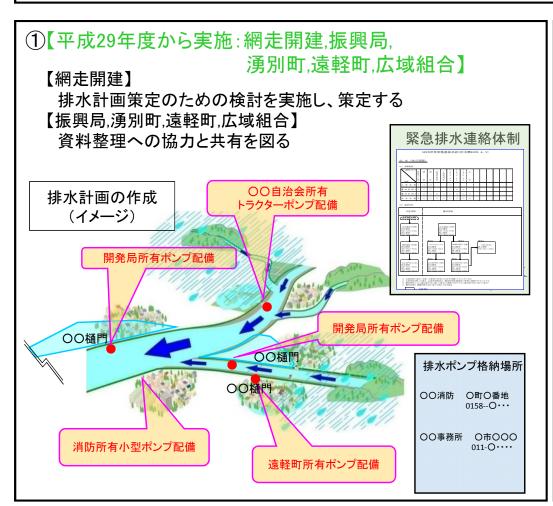
課題対応:O,P

①既設排水系統を関係機関と共有し、資機材搬入経路と想定排水箇所の設定を行い、排水ポンプ車等を活用した排水計 画の作成

【平成29年度から実施:網走開建,振興局,湧別町,遠軽町,広域組合】

②排水ポンプ車等による排水訓練の実施

【引き続き実施:網走開建,広域組合】【平成29年度から実施:振興局,湧別町,遠軽町】



| ②【引き続き実施:網走開建,広域組合】 | 【平成29年度から実施:振興局,湧別町,遠軽町】

### 【網走開建】

引き続き計画的に継続実施、及び幅広に関係機関への声かけを実施

【広域組合】 ポンプ排水訓練に参画

【振興局,湧別町,遠軽町】 ポンプ排水訓練に参画

排水訓練の実施







# 湧別川ほか減災に関する取組方針に基づく これまでの取組状況について

## 【網走開建、振興局】北海道における災害時等の相互協力に関する細目協定の締結

- ◆網走開建とオホーツク総合振興局において、災害時の相互協力に関する連携強化のため、細目協定を締結しました。
- ◆災害が発生し、又はおそれのある場合の北海道開発局、北海道及び札幌市の相互協力を円滑に行うことを目的として 平成28年12月に北海道開発局、北海道及び札幌市により「北海道における災害時等の相互協力に関する協定」が締結されたことを期に、より一層の連携強化を図るため、各部局間において細目協定が締結されました。

## 相互協力に関する細目協定の締結について

・網走開発建設部及びオホーツク総合振興局は、網走管内における細目協定を平成29年3月7日に締結しました。



協定 調印の様子 平成29年3月7日



北海道開発局、北海道、札幌市の協定調印の様子 平成28年12月9日 (北海道開発局HPより)

### 【相互協力に関する細目協定の目的と内容】

- ◆目的:各機関の相互協力、連携強化により、災害発生又はおそれのある場合に、被害の 拡大防止及び二次災害防止並びに被害施設の早期復旧等に資することを目的と しています。
- ◆協定の内容

被害状況の把握、応急復旧等の実施に係わる建設資機材の貸与や職員の派遣に関する協力を行うとともに、平常時から緊急時の連絡体制及び保有する建設資機材に関する情報交換、災害時の要請が輻輳した場合の調整

- ◆細目協定締結について 災害対応時の具体の必要事項(管轄区域や協力要請の手続き等)を定めました。
- ※「北海道における災害時等の相互協力に関する協定」 平成28年12月9日、北海道開発局、北海道及び札幌市により締結された協定を主軸に、全 道の開発建設部及び振興局において、具体の細目協定を締結し、より一層の連携強化を 図っています。

## 【網走開建、気象台、振興局】要配慮者利用施設への説明会について

- ◆ 昨年の一連の台風などの豪雨災害を踏まえ、国土交通省、厚生労働省及び各自治体が連携し、要配慮者利用施設 管理者に向けた河川情報等への理解を深めていただくための説明会が全国で開催され、このたび、網走管内において も開催されました。
- ◆要配慮者など災害弱者の避難を、地域社会全体で連携支援し、確実な避難の実現のため、洪水や土砂災害リスクの高い区域に存する要配慮者利用施設については、避難確保計画作成及び避難訓練の実施が義務化されています。

## 要配慮者利用施設への説明会開催状況

網走管内における説明会を、 網走地区、北見地区、遠軽・紋別地区の3地区で開催。 【開催状況】

平成29年5月10日 遠軽・紋別地区

(紋別市民会館)

平成29年5月17日 北見地区

(北見芸術文化ホール)

平成29年5月19日 網走地区

(網走オホーツク文化交流センター)

## 【説明会の開催背景】

- ◆平成27年9月関東・東北豪雨や平成28年8月台風10号等では、逃げ遅れによる多数の死者や甚大な経済損失が発生
- ◆「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を実現するため、同様の被害を二度と繰り返さない『抜本的な対策』が急務

【以上の背景を踏まえ、国土交通省、厚生労働省、各自治体が連携して、施設管理者に対して水害・土砂災害時における適切な 避難行動についての理解を深めていただくことを目的とした説明会を全国で開催】









【オホーツク管内における説明会】

5月10日

遠軽・紋別地区



要配慮者利用施設数は

934施設

5月19日

オホーツク管内 3市14町1村



## 【湧別川】洪水氾濫を未然に防ぐ対策・避難時間の確保に資するハード対策の実施

- ◆ 湧別川ほか・渚滑川ほか減災対策協議会において策定した減災に関する取組方針の「概ね5年で実施する取組」に基 づき、洪水氾濫を未然に防ぐ対策として、浸透対策を実施。
- ◆ また、洪水による越水破堤時における避難時間を少しでも長く確保するため、堤防天端保護工を実施。
- ◆ 次年度以降も継続的に実施。

## ハード対策の実施状況







◆湧別川・渚滑川では関係機関が連携し、大規模な氾濫の発生に備え減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、 計画的に推進する「水防災意識社会」の再構築に取り組んでいます。(参考)網走開建HP: http://www.ab.hkd.mlit.go.jp/kasen/gennsai/index.html

## 【湧別川水系生田原川、中土場川】洪水氾濫を未然に防ぐ対策(振興局)

- ◆ 湧別川ほか減災対策協議会において策定した減災に関する取組方針の「概ね5年で実施す る取組」に基づき、洪水氾濫を未然に防ぐ対策として、河道掘削(堆積土)と伐木を実施。
- ◆ 次年度以降も継続的に実施。

## ハード対策の様子

★河道内の伐木と、 河道の掘削を を行いました。



## 【湧別川】避難情報や警報の発信体制強化(湧別町、遠軽町防災メール利用促進)

- ◆ 湧別川ほか減災対策協議会において策定した減災に関する取組方針の「概ね5年で実施する取組」に基づき、避難情報や警報等の発信体制強化として、湧別町ではサポートメール、遠軽町ではえんがる防災情報メールとエリアメールを運用しており、随時、利用促進を図っています。
- ◆ 次年度以降も継続的に利用促進を図り情報発信体制の強化を行っていきます。

## 取組の概要(サポートメール@防災ゆうべつ)

・登録制のサポートメールによって緊急防災情報を配信しています。

利用促進のため、町広報誌への特集記事掲載や、避難勧告等の、 判断伝達マニュアルへ情報の利用について記載しています。

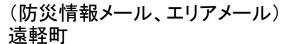
### 【配信される内容】

- ①緊急防災情報
- ・津波警報・大雨警報・水防警報・暴風雪警報など 気象庁が発表する気象情報
- ・災害発生時の避難所情報
- ・暴風雪時の通行止め情報
- ②国民保護情報
- ・他国からの武力攻撃、ミサイル発射など、国民保護の観点から配信される緊急情報
- ③交通安全·防犯
- ・交通安全運動・防犯活動など、住民に参加協力を 求める自治情報



※避難勧告等の判断・伝達マニュアル(水害編)に避難勧告の伝達方法のひとつとして明記

- ※広報紙10月号に水災害に関する特集記事を掲載し、サポートメール利用促進について取り上げ
- ※サポートメール@防災ゆうべつの運用は、平成27年度から実施





※エリアメールは平成24年11月から実施

## 【湧別川】災害対策本部図上訓練(遠軽町主催)

◆ 湧別川において大規模な洪水による災害が発生した想定で、各機関の態勢や活動内容を共有する目的 で災害対策本部の図上訓練を実施。

## 図上訓練

日 時:

平成29年7月4日(火) 13時30分~16時00分

場 所:

遠軽町福祉センター 2階大ホール

### 参加機関:

遠軽町

湧別町

陸上自衛隊第25普通科連隊 北海道オホーツク総合振興局 網走建設管理部遠軽出張所 北海道警察北見方面遠軽警察署 遠軽地区広域組合消防本部・消防署 北海道電力(株)遠軽営業所 網走開発建設部遠軽開発事務所









◆湧別川では関係機関が連携し、大規模な氾濫の発生に備え減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、 計画的に推進する「水防災意識社会」の再構築に取り組んでいます。

(参考) 網走開建HP: http://www.ab.hkd.mlit.go.jp/kasen/gennsai/index.html

## 【湧別川】夜間における氾濫水の排水を行うための資機材の整備(遠軽町)

◆湧別川ほか減災対策協議会において策定した減災に関する取組方針の「概ね5年で実施する取組」に おいて、夜間における氾濫水の排水作業効率化に資する照明車の購入により、排水能力の向上 を図るとともに 資機材の整備などによって総合的な災害対応力の向上を図っています。



## 【湧別川・渚滑川】水害リスクの高い箇所の共同巡視を実施(紋別市、遠軽町、湧別町)

- ◆ 湧別川ほか・渚滑川ほか減災対策協議会において策定した減災に関する取組方針の「概ね5年で実施する取組」に基づき、流下能力が低い区間や水衝部の水害リスクの高い箇所、水防資機材の備蓄状況について、水防活動の効率化及び水防体制の強化を目的に自治体と共同巡視を実施。
- ◆ 関係機関と連携して、今後も継続的に実施。

## 共同巡視の様子











◆湧別川・渚滑川では関係機関が連携し、大規模な氾濫の発生に備え減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、 計画的に推進する「水防災意識社会」の再構築に取り組んでいます。

(参考) 網走開建HP: http://www.ab.hkd.mlit.go.jp/kasen/gennsai/index.html

## 【湧別川・渚滑川】迅速な氾濫水の排水を行うための操作訓練を実施

- ◆ 湧別川ほか・渚滑川ほか減災対策協議会において策定した減災に関する取組方針の「概ね5年で実施する取組」に 基づき、水害時における迅速な氾濫水の排除を行うため、災害協定業者に対して、排水ポンプ車及び排水ポンプパ ッケージ等災害対策用機械の操作訓練を実施。(湧別川、渚滑川では平成29年度は2回実施)
- 自治体や消防等の防災関係機関の職員も参加し、開発局が所有する災害対策機械の機能や、災害発生時の出動要請 手順について理解を深めていただいた。
- ▶ 次年度以降も継続的に実施。

災害対策機械 操作訓練





災害対策機械(照明車)の機能説明



災害対策機械(照明車)の操作方法説明

災害対策機械(照明車)の操作方法説明



◆湧別川・渚滑川では関係機関が連携し、大規模な氾濫の発生に備え減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、 計画的に推進する「水防災意識社会」の再構築に取り組んでいます。

参考)網走開建HP: http://www.ab.hkd.mlit.go.jp/kasen/gennsai/index.html